



夏休みの学びを共有しよう

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。久しぶりに学校に子どもたちの歓声が響き渡り、活気が戻ってきました。37日間の休みはどうだったでしょうか。1学期の終業式では、自分が興味を持ったことにじっくり取り組むことができるのが夏休みだという話をしました。たくさん本を読んだ人、工作や手芸をした人、虫の観察をした人、思い出を絵日記にした人、体験や研究したことをまとめた人など、一人ひとりが自主的に取り組んだと思います。そして、その一端が各教室や28日(火)の夏休み作品展などで見ることができるでしょう。また、友だちや他の学年の人たちの作品を見て、その頑張りや工夫を互いに交流し合い、認め合うことも価値があることです。

8月といえば、6日・9日・15日を忘れることができません。73年前、6日には広島に、そして9日には長崎に原子爆弾が投下されました。そして、15日は、太平洋戦争の終戦日です。私たちは、二度と戦争がない世の中にしなければなりません。そのためにも、戦争の歴史を知るとともに、自分たちで考え・判断したり、さらには行動したりするような知性や人間性を身につけていく必要があります。これは、簡単に身につくものではありません。学校教育の中で、そして家庭や社会の中で継続的に学び育つものです。子どもたちの未来のために、どのような世の中にしていくか、どのような子どもに育ててほしいか、しっかりとした考えを持ってほしいものです。

どのような子どもに育ててほしいかを考え実践する基になるのが、学習指導要領です。平成32年度から小学校で完全実施される新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」をスローガンに、「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。これは、これからの社会を生きていく子どもたちにとって、知識や技能を受動的に蓄えるのではなく、様々な問題に自ら立ち向かい、その解決に向けて多様な他者と協働したり力を合わせたりしながら、それぞれの状況に応じ解決方法を探り出していく力を身につけてほしいと願っているものです。その背景にあるのは、さらにその将来、人工知能・ビッグデータ・自動走行車などのテクノロジーを活用した社会が到来し、一方的に知識を教えるだけの教育を行っていても期待する人材を育成することが難しいとする考えがあるからです。社会の変化とともに、学校も変化する部分もあるというのです。

実り多く成長する2学期

2学期は、1学期の振り返り、さらにステップアップする学期です。1学期で伸びたところはさらに伸ばしてほしいものです。逆に、1学期にうまくいかなかったところは、再挑戦したり、修正したりしていくチャンスです。人は、何度でもやり直しができますし、それを認め合える人の関わりを大切にしていきたいと考えています。

2学期が始まってすぐに、尼崎市水泳記録会があります。5、6年生の中で標準記録を突破した人が集まって競い合います。本校以外に、塚口小学校・立花北小学校・立花小学校の人が集まってきます。応援したり健闘を称え合ったりするのも、水泳記録会のいいところです。

また、自然学校や修学旅行などの泊を伴う学習、校内や尼崎市の音楽会、子どもたちが企画・運営する尼北まつりをはじめ、各学年それぞれに子どもたちの成長を育む取組があります。

2学期も職員一同全力を尽くしてまいりますので、どうぞご協力ください。